

# 伊那市の概要



## ○特色

伊那市は長野県南部に位置し、東に南アルプス、西には中央アルプスと二つのアルプスに抱かれ、南北に流れる天竜川や南アルプスを源流とする三峰川沿いには平地が広がり、河岸段丘が見られます。中央自動車道も整備され、東京・名古屋のほぼ中央に位置しています。高遠城址公園の桜や、仙丈ヶ岳を中心とした南アルプス国立公園といった観光資源があります。豊かな農地を利用した多品種の農業が営まれるとともに、工業が盛んです。

## ○農業に関する特記事項

昔から「米どころ」として農業が営まれてきた伊那市では、稲作を主体に、野菜、果樹、花き、畜産、きのこ栽培など、高低差や寒暖差を生かした多品種の複合的な農業を展開しています。



田園風景と中央アルプス



高遠城址公園の桜と仙丈ヶ岳



上空から見た伊那市

## 東京農大と伊那市との繋がり(出身者)

前田善男(校友会長野県支部事務局長、農学科卒)、伊藤好(株仙醸顧問、醸造学科卒)、小池守雄(元全農長野、農学科卒)、山岸計司(株鈴平、農業経済学科卒)、矢島修(矢島園芸、農学科卒)、漆戸正彦(漆戸醸造、醸造学科卒)、漆戸孝彦(漆戸醸造、醸造学科卒)、春日真一(伊那食品工業、醸造学科卒)、中山汎圃(元三峯川電力社長、農学科卒)、藤澤直彦(伊那西高校教諭、農学科卒)、城倉三喜生(市職員、農学科卒)、下平明彦(市職員、農業工学科卒)、

ほか、市民に卒業生多数

## 今後の交流の可能性

- 伊那市では森林や農地、植物等、地域資源を活用した農林業等の振興に取り組んでおり、資源の客観的評価、助言等、東京農大の果たす役割は大きいと考えます。
- 伊那市で活躍する農大OBも多く、今回のJA上伊那、上伊那森林組合が連携活動に参加することで研究実証フィールドの提供、農大生の農林業体験等、今後様々な交流と成果が期待できると考えます。
- 就職及び就農支援による人材育成



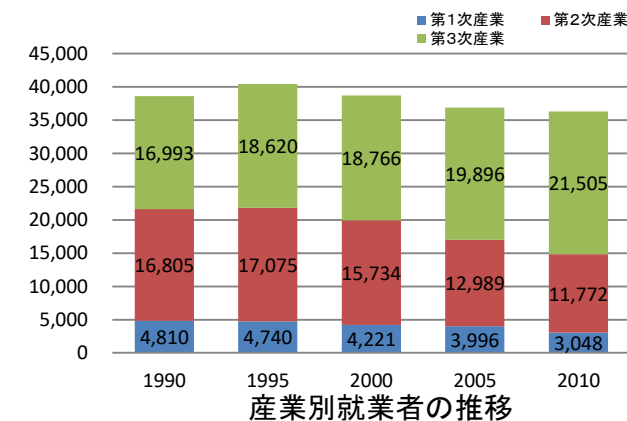
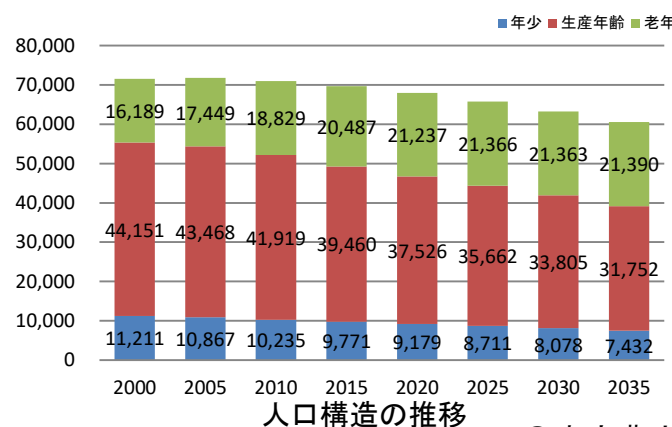
高遠そば

- 行政区:長野県伊那市(H18. 3. 31に伊那市、高遠町、長谷村が合併)
- 市長:白鳥 孝(しろとり たかし)
- 位置:日本のほぼ中心に位置し、東京から約3時間、名古屋から約2時間
- 大きさ:667.93km<sup>2</sup> → 長野県の総面積の約5%を占め、県内3番目に広い面積
- 長さ:東西の長さ → 37.2km  
南北の長さ → 44.7km
- 高さ:市役所 → 海拔 632m  
最高点 → 海拔3,052m  
最低点 → 海拔 590m



らいちょう

- 人口:69,189人(H28.10月現在)
- 集落数:125(半数は200名未満の小集落)
- 主産業:精密業、農業、土木建設業、サービス業
- 特色ある農産物・加工品:アルストロメリア、トルコギキョウ、アスパラ、そば等
- 主要林産物:カラマツ、アカマツ、ヒノキ
- 教育:小学校15校(児童1,694名) 中学校6校(生徒912名)  
高校4校(伊那北高校720名、伊那弥生ヶ丘高校720名、高遠高校500名、伊那西高校600名)



## ○東京農大の窓口教員

地域環境科学部森林総合科学科教授 上原 巖  
地域環境科学部森林総合科学科教授 宮林 茂幸  
地域環境科学部准教授 大出 英子

## ○伊那市の担当者

伊那市 農林部 耕地林務課 係長 伊藤 満(いとうみつる)  
〒396-8617 長野県伊那市下新田3050番地  
Tel:0265-78-4111 E-mail: ktr@inacity.jp



中尾歌舞伎

# JA上伊那の概要

## ○JA上伊那の現状

JA上伊那は、伊那市を含む上伊那郡全域を管轄する総合農協であり、その管轄面積は長野県全体の約10%に達する。地域の自治体と連携して農業体験等を行ったり、集落営農組合を立ち上げる等の活動を積極的に行っている。

主な農産物は米のほかスイートコーン、アスパラガスなどの野菜、リンゴなどの果樹の他、全国有数の生産量を誇るアルストロメリア、トルコギキョウ等の花卉があります。三峰川水系で収穫されるコメをブランド米「伊那華の米」として売り出しています。

## ○JA上伊那のビジョン

豊かな自然に囲まれている上伊那。その農業・金融・共済・福祉などさまざまな分野で地域の皆様を支えるライフパートナーを目指しています。



農水省玄関に飾られたアルストロメリア

## ○管轄区域

長野県上伊那郡の全体

## ○規模

組合員数 30,102人(うち、正組合員16,282人、準組合員13,820人)  
 役員数 41人(うち、理事34人、監事7人)  
 職員数 937人(男480人、女457人)  
 資本金 201億円  
 売上高 140億円(販売品(農産物)販売高)

## ○主な事業

### 営農指導・販売事業

農産物販売・地産地消活動、農業支援活動、  
 営農相談・指導、営農資材・農機事業、共同利用施設の運営、  
 営農センターの推進、農業公園施設の運営  
 経済事業

農産物直売所の運営、家電製品販売、組織購買事業、  
 食材宅配事業、住宅設備・住宅事業、観光事業、呉服販売、  
 LPガス取扱い、ガソリンスタンドの協同運営、  
 コンビニファミリーマートの事業展開

### 生活・福祉事業

生活相談活動、介護福祉保険事業

### 金融事業

貯金・融資・為替取扱、投資信託取扱い、国債販売、資産管理事業

### 共済事業

総合生活保障設計の相談・提案、生命保障の提案、生存保障の提案、  
 損害保障の提案、事故相談など各種相談

### 共同会社(子会社)の経営

(株)グレース、(株)オートパル上伊那、(株)JA菜園

### 出資会社による事業展開

(株)長野県A・コープ(4店舗)

## ○姉妹JA

JA北つくば

## ○新規就農支援協定

鯉淵学園農業栄養専門学校

タキイ園芸専門学校(予定)



農業体験



田園風景

## 現在の交流

### ○伊那東部再生支援研究会支援による連携

- 1) 山林資源調査(上原教授)、2) 農的環境調査(宮田講師)
- 3) 水田環境生物調査(進化生物研究所 今木事務局長)

### ○JA主催講演会、第1回地域農業振興ビジョン大賞受賞時審査(谷口教授)

### ○農大生の受入(JA祭り、法人研修)

### ○農大主催の研修会等への参加(新規就農セミナー・JA理事による『食と農の博物館』研修)

### ○主要農畜産物のPR(アルストロメリア・きのこ等PR)

## 東京農大とJA上伊那との繋がり(出身者)

平井誠(農業拓殖学科卒)、上村隆史(農学科卒)、市村実(農芸化学科卒)、  
 吉澤大吾(食料環境経済学科卒)、白鳥静香(畜産学科卒)、唐澤めばえ(森林総合科学科卒)、  
 小松洋道(農学科卒)、久保田慶男(食料環境経済学科卒)、有賀敏明(食料環境経済学科卒)、  
 下村治平(農業経済学科卒)、加藤泰明(短期大学部、農業科卒)  
 守谷卓也(短期大学部、農業科卒) ほか、組合員に卒業生多数

## 今後の交流の可能性

### ○東京農大生の農業実習の場としての圃場紹介

### ○就職及び就農支援による人材育成

### ○長野県上伊那産農産物の提供

- ・東京農大内食堂などでの食材としての利用
- ・東京農大のイベントなどでの販売

### ○女性の農業分野への進出支援

### ○東京農大教授等によるJA組合員向け講演会等の開催



はぞかけと南アルプス

### ○東京農大の窓口教員

地域環境科学部森林総合科学科教授 上原 巖  
 地域環境科学部森林総合科学科教授 宮林 茂幸  
 農学部バイオセラピー学科教授 小池 安比古

### ○JA上伊那の担当者

JA上伊那 伊那支所 営農経済課 課長 田中 晋一(たなか しんいち)

〒396-0025 長野県伊那市荒井3668番地

Tel:0265-72-4182 E-mail: e-keizai@ina.nn-ja.or.jp

# 上伊那森林組合 の概要

## ○上伊那の森林の現状

上伊那森林組合は、伊那市を含む上伊那郡全域を管轄し、森林面積は長野県全体の約10%を占めている。木材価格が長期的に低迷する中で、林業が低迷し、森林所有者の森林への関心も低下し間伐等の適正な森林整備等が行われず、放置させる森林が増加する傾向にあるが、当組合による森林経営計画樹立を足掛かりに森林への関心をそそり「儲かる森林整備」を目指す。

一方では、野生鳥獣の生息分布の拡大と松くい虫被害の深刻化により、経営意欲の低下を招き、森林の機能後退も危惧されている。

## ○上伊那森林組合の経営理念

地域に根ざした豊かで夢ある森林(もり)づくり

## ○上伊那森林組合の経営方針

安全に誠意と感謝で地域貢献

## ○上伊那森林組合の行動指針

常に問題意識と自己改革の意識をもって新たなことにチャレンジしよう

## ○管轄区域

長野県上伊那郡の全体(森林面積:106,400㎡)

## ○規模

組合員数	12,598人
役員数	28人(うち、理事25人、監事3人)
職員数	69人(一般職員36人、技術職員33人)
資本金	1億97百万円
売上高	9億96百万円(直近決算27年度 平成28年2月期)

## ○主な事業

### 指導部門

- ・機関誌発行による森林・林業に関する情報提供
- ・経営研修会にて、森林整備事業の説明及び経理指導等の実施
- ・松くい虫対策のための森林巡視と被害木処理
- ・バイオマス事業等のPRと再生可能エネルギーの普及啓発

### 販売部門

- ・森林造成事業の搬出間伐による素材の供給を受けて、林産・木材加工・ペレット事業と結び付きを持つての事業展開。
- ・販売事業(木材等の販売)
- ・林産事業(木材等の生産・加工)
- ・建設等事業(住宅の新築、リフォーム等)

### 加工部門

- ・教育施設等への造作材、建具部材等の納材
- ・民間の建築物件を中心に地域材製品の納材
- ・治山・土木工事の資材としての丸太杭等
- ・木質ペレット燃料

### 森林整備部門

- ・購買事業(苗木、林業機械、種駒、ペレット燃料等)
- ・森林整備事業  
国庫補助施策、また森林の里親促進事業における、民間活力とも手をくみながら、高性能林業機械を駆使し、素材生産を連動した森林整備を実施。
- ・松くい虫対策事業  
薬剤樹幹注入による予防対策を行うとともに、樹種転換事業、アーボリカルチャー特殊伐採事業を取り入れ、更新・循環を進める。



カラマツ林



ペレットストーブ

## 東京農大林学科の出身者

飯島廣(小平建設)、唐木豊(長野県林業コンサルタント協会)、井上康良(小学校教諭)、木下啓(㈱イナリサーチ)、翁敬(㈱TOSYS)、小林智彦(馬場測量設計事務所)、中村良二(赤羽電具)、ほか、組合員に卒業生多数

## 今後の交流の可能性

- 東京農大生の林業実習の場としてのフィールドの紹介と現地指導
- 就職及び就農支援による人材育成
- 女性の林業分野への進出支援
- 東京農大教授等による組合員向け講演会等の開催
- 低コスト林業の研究、木材利用分野拡大への研究開発

## ○東京農大の窓口教員

地域環境科学部森林総合科学科教授 上原 巖  
地域環境科学部森林総合科学科教授 宮林 茂幸

## ○上伊那森林組合の担当者

上伊那森林組合 総務課 参事 森 敏彦(もりとしひこ)  
〒399-4432 長野県伊那市東春近1604番地1

Tel:0265-72-3232 E-mail: mori@kamiinashinrin.or.jp



小学校の廊下腰壁材



森林間伐風景



森林整備